

イオン株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、イオン株式会社（以下「本法人」）が発行する第 25 回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023 年 8 月 17 日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金使途に限定されません。

本法人は、SPT1 を 2030 までに店舗使用電力の 50%を再生可能エネルギーに切り換え（国内）、SPT2 を 2030 年までに使い捨てプラスチック使用量を 50%削減とし、SPT1 と 2 それぞれが未達の場合、社債発行額の 0.1%相当額を、公益財団法人イオン環境財団を想定した脱炭素に資する活動をする団体へ寄付をします。

また、本法人は、本債券の発行にあたって、「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」を策定しており、国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2023」、ローン・マーケットアソシエーション（LMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ローン原則 2023」、環境省が定める「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022 年版）」ならびに「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022 年版）」との適合性に対するオピニオンを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上